



放送作家情報

1997/3/25 Vol.13

発行/社団法人 日本放送作家協会
 編集/広報委員会
 〒106 東京都港区六本木 6-2-5 ハラビル
 TEL 03-3401-5996 FAX 03-3479-4250



手紙というくすり

パソコンの便利な機能のひとつに、「メール」があります。何かこの言葉は、女子高生が頻繁に使う「カレシ」と同じく、フラットに発音します。「原稿、メールで送っておきます」といった具合に（わかりました?）。

現にこの情報誌も、集まった原稿を編集部員たちがパソコンに打ち込み、それをそのままメールでデザイナーさんに送っています。かつてファックスで原稿を送れるようになった時には、「おお、便利すぎる!」と驚いたものですが、便利はまだまだ加速していますね。

さてメールを活用する人の中に、新しい人種が生まれています。「メールまめ」な人。身の回りのエピソードを楽しく綴って送ってくれる人のことです。メールまめな人を友達に持つと、パソコンを開くのが楽しみになります。「仕事にかかるまえに、ちょっとメール見てみようか」とコーヒーをすすりながら、マウスをピコピコピコ……。『新しいメールが届いています』とアナウンスされれば、たとえそれが電子ヴォイスであっても少しウキウキするし、何もなければ寂しい気持ちにもなります。

そしてやがて、「この気分は、家の郵便受けを開けてみるときと同じだな」と気づかされるのです。実際の郵便受けには、クレジットカードの利用明細やダイレクトメールが大きな顔をしていて、うれしい私信は少なくなりました。たまた、宅配ウラビデオのちらしにウキウキする御仁もおられましようが。

要するに、郵便受けがパソコンに移動した、ということでしょうか。ひとはやっぱり、手紙をもらうのが好き……手紙には何か癒やしの効能があるのですね。

この冊子も、半年に一度の手紙、とっていただけたら幸いです。中身はたっぷりあります。じっくり効能を味わってください。

CONTENTS

特集	朝型、夜型、どっちがお得?	2
	オピニオン	4
	企画アリマス	6
	協力してください	7
特別企画	第三者機関を考える	8
	知ってました?	10
	日本放送作家協会理事会活動報告	11
	近況報告	12
	掲示板	17
	執筆者リスト 連絡先一覧	18
	EDITORS' LETTER	19

STAFF

企画・編集/東多江子・井川公彦・清水喜美子
 瀧沢とも子・田北豊明・平柳益美・藤森 尊
 星川泰子・宮村優子・森 治美・横光 晃
 青木邦子
 デザイン・DTP/井口妙子(Catamaran)
 印刷/北川印刷株式会社

Television and Radio Writers' Association of Japan

朝型、夜型、どっちがお得？

森 治美

損得なしの全時間型

「どっちがお得？」と言われても、返答のしようがない。今は冬。寒い朝、ベッドを抜けるのも、冷たい夜、ベッドにもぐり込めないのも、仕事の量とその進み具合にかかっているからだ。

季節はともかく、これまでの丸16年は全天候型ならぬ全時間型にならざるを得ない仕事の仕方をしてきたのである。売れっ作家ならともかく、何故、この私がそうなるのか……詰まるところ、暮らしが仕事だけで成り立つ訳ではないからだ。かかえた仕事に反比例するように、他事を入れ込むことに長けているせいかもしれない。おまけに好きでもないのに掃除、洗濯をしないではいられない。食べ物の好き嫌いが多く食事を自分で作るしかない。

その結果、いつもいつも一人で忙しがつている。朝型、夜型の損得など考える余裕がないのだ。

では、「どっちがお好き？」と訊ねられたらどうだろう。これも又、返答に困る。どっちも好きでどっちも嫌いだ。

砧村の全てが眠りにつく頃、「ああ、あと少しあと少し」と書き続け、朝を告げる鳥の声を耳にする時の喜びは大きい。カーテンの隙間を縫って差し込む朝の光に、大袈裟でなく生きてると思えるのも、夜を徹すればこそ。又、逆に、意地になって座り続け書き進めぬまま白々とした朝を迎える時ほど、情けなく悔しいものもない。

早朝に合わせた目覚ましの第一音と共に迎える仕事は、ブラック珈琲と煙草を手に、ベランダの向こうに見える緑の木々を眺め眺めする清々しさ楽しさがある。何か書けるような幸福な予感さえ抱ける。一日の始まり、朝ならばこそ。が、時計の針が10時を廻る頃には、電話だ玄関のチャイムだと仕事の中断を余儀なくされ、いつか集中力を失って「こんな筈じゃなかった」と落ち込むのも、朝。

いずれにしるこの先も、仕事は波立つ心のまま、時、所を選ばずやるしかなさそうだ。「朝の内は仕事をしない」「夜は仕事をしないで自分の時間」……そう言う人達が、限りなくうらやましい。

友澤 晃

夜は寝るものと決まっている

「朝型ですか？」と不思議そうな顔で言われることが多い。「なぜですか？」と訊かれても返答に困る。だいたい生まれた時から夜は寝るものと決まっていたし、受験勉強だって夜中にしたことなど一度もなかったし、夜の仕事もしたことがなかった。だから脚本家になったから、夜に書かなければならないといった観念もまったくなかった。逆に、なぜ夜に書く人が多いのだろうか？ と疑問にさえ思うことが多かった。

夜型の人は、創造の神様が降臨するとか静寂が支配するとか、いろいろな理由を述べられるが、僕の職場は昼でもけっこう静かだし、ミュージアムもときどき現れては肩を揉んでくれたりもする。

そんな訳で僕は朝型(正確には昼型)を通して、どっちが得かと言えば……そんな判断などできるわけがない。人それぞれ好きな時に書けばいいのだ。

ただ僕自身は、太陽の動きとともに一日がしっかりと区切りを持って過ぎていくことが精神的には楽だ。毎朝リフレッシュした感覚でワープロの電源を押すことができる。そしてピシッと8時間キーを叩き続け、それから締切り前日だろうとワッと8時間遊び、目覚ましをかけずにグオーッと8時間眠る。そのパターンをほぼ崩すことなく今までやってきた。これからもそうしようと思っている。

この原稿を書いていて思ったのだが、もしかしたら僕は実に健康的な作家なのかもしれない……。

小島 貞二

夜にバイオリズムが上る

もっぱら夜型です。むかしから夜に仕事のピッチの上るのを自覚していたが、古い知人にバイオリズム(四柱推命)の専門家が出て、分析してもらったところ、夜にリズムの上る運命数とわかり、自信となった。

宵の口によく飲む会があるが、飲めないことを理由に遠慮することが多い。いくらかは飲めるのに、酔っては夜の仕事にさしつかえるからもある。

そんな個人の勝手！と言われてしまえばおしまいだけど、ひとの意見を聞いて、今までのパターンを変えてみるのも、リフレッシュになるかもしれません。

ちなみに英語で朝型人間を“early bird”と言うのだそうです。だからと言って、夜型をnight birdとは呼ばない。夜の蝶、になっちゃうものね。呼び名では、朝型に分がありそうです。

児玉 正博

無分別な睡眠こそいとよけれ

なぜか夜明け前にきまって目が醒める。およそ3時間の眠り……その夜と朝の狭間のおぼろげな輪郭の夢をまるで乙女の花園を覗く好色漢のように反芻しながら、ともかくも机の前に座る。読みかけにした資料の活字を追う。時を遡りながらゆっくりと思考回路が結ばれていく。

すっかり世間嫌いになった僕が、思い出だけに生きている老人のようなこともない生活を始めておそらく2年……僕は僕の生理を忠実に守って、しかしそれが一番心地よいと感じているのだ。

それにしても、やがて春、時は流れ漆黒の闇はじっとしているだけで自然に明けるだろう。

ハイネだったか言っていた《眠りいるこそ、いとよけれ》…無分別な睡眠を快樂にまかせて享受することこそ最もお得なような気がしている昨今であります。

井口勢津子

夜型は損

夜の飲み会で雑学大学というところから講演を頼まれた。ボランティアだからと気安く引き受けたが3日して本当に書類がきて後悔した。口では失敗が多く損をしている。それを忘れて引き受けたのはやはり私、夜型。10時以降は気が大きくなって財布が軽くなり口も軽くなるという癖があり、損を忘れてまた損をするのです。

吉田 剛

午前中がベスト

私、かつては映画の現場人間だったので昼型です。映画は草創期、ガラスステージで太陽光で撮影したので、その頃からの遺伝子なのでしょう。

原型は朝9時開始、午後5時やめ、でしたが、このところ少し夜にズレ込んでいるようです。

さて、昼型のお得な面は、夜ゆっくりとお酒が飲めること、マイナス面は散歩や昼の外出がしにくいこと。

調子は午前中がベストです。テネシー・ウィリアムズ自伝によると、晩年、彼は一年の内の数日の午前中のみが執筆可能

な時間だという生理に陥っていたようで、そうなる则と怖いと思いつつ、そうなりそうな気がします。

高谷 信之

朝型にしたいのに

締切り間近の24時間態勢の時は別にして、基本的には、夜となり、人々が眠りにつく頃から、執筆開始します。

これは私自身がともするとごくごく平凡な感性、ぼんやりとした思いしか、昼には思い浮かばないからなんです。

よく、夜に書いたことは、朝になって読み返すと、誇張や粉飾が多くて赤面する等という事を言われる方がありますが、私の場合は逆です。

多分に夜に紛れて、誇張、粉飾しないと、文章や会話そのものがフラットになってしまっただろうという事はないのです。

ところが夜型人間の不幸は、朝しらじらとしてから眠りにつくと、必ず2・3時間して起こされるという事です。スピーカーによる物売り、セールスの電話。子供達の叫び声(最近の子供達はストレスのため悲鳴を上げて遊んでいます)そして、今は隣りに建つ8階建てのビルの猛烈な工事音。

朝型に変えたい。変えれば、夕方から人と会ったり、たまには飲めない酒だっただけ飲めるじゃないか……しかし、フラットな眠っているような文章だけは避けたいのです。

だからお前の文章は装飾過多で、饒舌過ぎるんだという声が、どこからか聞こえて来ます。

これもウン十年の習慣、仕方なく今も夜中の3時40分にこの文章を書いています。

オピニオン

上野 友夫

埋もれた作品に陽の目を

自分では自信作だと思っていたのに、制作者サイドのお気に召さなくて没になったという苦い思いをしたことはありませんか。それも確たる理由もなく、その時の気分や社会情勢云々で採用されない。勿論、没にした方には、それなりの理由はあるだろうが、ずっと現場のディレクターとしてドラマを演出してきた小生にとっても、何故、放送出来ないのかお偉方の考えが分らない事も多々あった。

こっちの責任で作品を委嘱したのだから、たとえ放送出来なくても稿料だけは払ってほしいと事務サイドと交渉した事もある。

そうした小生の体験を踏まえても、放送作家の皆さん方、自信があるのに陽の目を見なかったという原稿をけっこう持っていらっしやるのではないか。ある時代には向かなかったテーマが今なら通用する。読む人間が代ったらいい評価がでるかも知らない。そんな思いの未発表の原稿を集めて小冊子にまとめ、改めて、各局のディレクター、プロデューサーに読んでもらう。そんなプランを持っています。現に小生の手許にも、そうした作家の方々の作品がいくつかあるので、年に一度でいい、そうした作品を集めて改めて世に聞きたい。はじめは有志が集まり同人誌形式でワープロ印刷でいいから一冊まとめてみたいと思います。御賛同の方があればプランを具体的にねりたいと思います。

田村 晋也

「放送作家」という証明書を

放送作家がテレビ局に入る時に提示する「入館証」なるものを何とか出来ないでしょうか。各局で仕事をしている身では、何枚も持ち歩かなければなりません。「放送作家」という証明書で、各局に入れるよう協会・組合で交渉していただけないでしょうか。

鈴木 進

マスメディアの功罪

この2、3年講演の依頼をいただき各地へおうかがいする機会に恵まれております。

初めてのところも多いので、できるだけ日程を余分にとって、それぞれの地元に伝わる史跡や伝説などを訪ね、新しい発見をすることが楽しみです。そして、地元独特の風俗や文化に触れることは最高の喜びです。

しかし、それらが年々失われていくように思われます。言葉も、ファッションも、料理も、すべてにわたって没個性化、均一化を助長しているのはマスメディアの功罪でしょう。情報の一方通行は文化を偏向させる恐れがあります。貴重な遺産を大切に、後世に伝えるための努力が今こそ必要だと痛感しております。

大舘 哲弘

逆もまた真なり

(1)人は外見で判断しよう (2)なるべく面倒くさいことをしよう (3)採算の合わないことをしよう。これが今年の一年の計です。

外見を作るのに多くの制約があった時代ならいざしらず、現代では人は外見で判断すべきではないのでしょうか。髪や服装の色や形、人相、言葉づかい、しぐさ……。それらすべてが、その人となりを語っています。性格や好みを現わしています。わざわざ意に反した恰好をする人は少ないでしょう。人は見かけによらないというのは、多くの場合、その真の姿を見抜く力が無い、ということではないのでしょうか？ 人を見る力があれば内容にそぐわない恰好をしていても、真実は見えるのではないのでしょうか？ 勿論、例外はあります。でも私は人は外見で判断しようと思います。

(2)と(3)は、そうすることによって失われたものが取り戻せるし、そこから得られるものの方が労力や採算より大きいからです。

村山 庄三

“人間間の契約”を尊重したい

「私はあなたと意見を異にするが、しかし、あなたを抹殺しようとする人間に対しては、命をかけて闘う。」

フランスの啓蒙思想家は、このような意味のことを言っていた。

これを私流に解釈すれば、自分と意見を異にする人間の存在を、自分の存在と同じ重さで尊重するということだと思う。

なぜそうしなければならないかと言えば、“人間は間違いを犯す動物”だからだ。今自分が正義と思っていることが、ひょっとしたら間違っているかもしれないと思える精神の柔軟性の基盤の上に立ってこそ、「言論の自由」という一種の“人間間の契約”が成立するのだと思う。

池田 博

放送メディアの多様化によせて

放送という分野が一言で説明出来なくなりました。ケーブルテレビもさることながら、コンピューターゲーム業界の再編成が始まり、ほかにもビデオ・オン・デマンドなどメディアの変化も始まっています。インターネットで手に入る情報は知れたものかもしれませんが、メディアへの対応が放送作家という立場ではどういうことになるのでしょうか。

報道やドラマの質が問われているのも、やがて崩壊すると思います。放送事業者が日本の文化を破壊し始めているように思います。そのうちにテレビドラマはゲームソフトに負けるかも。そういえば「聖龍伝説」ってドラマはゲームの世界でしたね。驚くのはオジサンゲーマーが増えていることです。実は私もそうです、恥ずかしながら。

塩川 寿一

少子化問題は笑止か

ニッポン国では少子化に歯止めがかからず、平成7年の出生率1.46のままだと、50年後には14才以下の若年人口が半減するという。

そこでお役人が考えたのは「エンゼルプラン」なる子育て支援政策で、全国津々浦々に補助金つきのお達しを出した。産めよ増やせよに役立つことならば、なんでもやりなさい、応援しましょうということである。果して出生率が上昇するか不明だが、間もなくその効果は、都市部を中心に営利目的の子育てビジネスの増加となって現れ、福祉保育は後退するであろう。

世界の人口はこの40年間で2倍に増え、そのため3割の人が餓え、6割の人が腹七分目、残りの1割だけがニッポンのように満腹を気にしているのが現状、だから人口増加は地球上の大問題なのです。なのにニッポン国は、折角減りつつある小さな島国のニッポン人を、一人でも減らすまいと莫大なお金を使おうとしているのは誰のためでしょうか。

ニッポンの首都東京で出る残飯は、一日で50万人の人が3食食べられる量だそうだから、それを高齢者用に保存して一日2食づつ分けることに、なんて考えるのはバカですか。

新宿のホームレスは有名だが山谷、釜ヶ崎といった本場でも減っていない。大部分はニッポン人で働かない。それに反して一見ブアに見える雑多な外国人が、悪条件の下で一生懸命働いている。この人達を差別せずに好い条件、環境を用意(特に夫婦者)すれば、高齢者を支える労働人口と少子化問題は、一石二鳥で解決するなどは妄想だろうか。

バブルの最中に鳴り物入りで打ち出したゴールドプランは、お年寄のため、そして、エンゼルプランは、子どものためにと真顔で答えられると、笑止か千万とつぶやきたくするのはよくだけでしょうか。

企画 アリマス

高橋 克雄

アニメ映画、CD-ROM 企画

◆書き下ろしアニメ映画・連載マンガ原作『ペンション魔法使いの事件』完成。

少年少女SF冒険もので、銀座泰明小6-2組での模擬公開で生徒を震え上がらせました。

明るいタッチですが、その恐さはチョー弩級です。これからのトピック環境保全をテーマにしています。

映画、マンガ原作か、児童新聞連載に適します。

トリック流出は困りますので信用第一をお願いします。

◆CD-ROM企画『メルヘン・スライド絵本』を製作します。ぼくが10年間NHKで放送したメルヘンアニメを撮りためたスライドをコンピュータで再構成、インターアクティブな紙芝居を作ります。真面目な子どもCDに興味のある方、販売してください。もちろん著作権クリアです。

柳沢 昭成

新作戯曲『袴垂れ異聞』の 上演を！

今は昔、平安の都に出没した盗賊『袴垂れ』とは一体何者なのか。調べると実在した藤原保輔と袴垂れ保輔が同一人物とする根拠はないというのが通説らしい。実説の藤原保輔は「強盗の張本人、本朝第一の武略、追討の宣旨を蒙ること十五度」と『続古事談』に記され、貴族の屋敷を襲い、体制に反逆する正義の味方面面をしているが要するに公卿崩れの盗賊。『袴垂れ』を隠れ蓑に荒らし回る。

しかしそこに『袴垂れ』の偽者が登場したとしたら……。平

安の都は『袴垂れ』を名乗る盗賊集団に襲われ、檢非違使はてんでこ舞いの大騒ぎとなる。『袴垂れ』にとっては好都合だが、袴垂れの罪を背負って捕らわれ、処刑されるのは保輔の異母弟太刀丸だった。

盗賊の若者太刀丸を主人公に、保輔の父に犯され太刀丸を生んで捨てられた母親の怨念、正義の味方『袴垂れ』に思いを寄せる太刀丸の妹や、辻女に身を落としても保輔を慕う女、保輔と敵対する盗賊の首領、死人の髪を抜く老婆が絡んで、愛と救い、復讐と裏切りのドラマが荒廃した平安の都を舞台に展開します。

新作戯曲『袴垂れ異聞』（2幕）は上演時間約2時間。

上演の舞台を探しています。よろしくお願いします。

高桐 唯詩

小説を書いています

放送作家生活26年目。これまで、F1グランプリや、ル・マンなど、スポーツものを中心に活動してきましたが、ドラマの基礎となる小説も手がけています。昭和30年代、テレビ草成期の田舎の電気店を描いた「父のアンテナ」。故・逸見政孝氏も所属したW大アナウンス研究会の青春を描いた「あえいうえおあお」。46歳の広告代理店部長の憂鬱を描く「知命まえ」。世界を旅しながら、自分と、日本社会のありようを模索していく青年を描いた「エクソダス」など、まだ、未完成なものもありますが、頑張ってます。また、BSの企画として「生中継テレビ姉妹都市」も考えています。是非、声をかけてください。

三宅 直子

投稿文の書き方を執筆中

●カルチャー教室でシナリオと文章講座を担当して十年余り。書きたい人が、若い人から中高年までいます。自分の体験をベースに投稿文の書き方を執筆中。年内に出版予定。続いて初心者向けの楽しいシナリオの書き方を準備中なので、出版社を探しています。

●生涯学習や社会参加に関心が高まってPTAや公民館から講演を頼まれることが増えました。書き方指導や学習会などの講演をしています。

●昨年、札幌で子供ミュージカルの脚本と北海道テレビの子

供ドラマ (30分物3本) を書きました。長年、アニメや子供番組を書いてきました。子供物の企画がありましたらご相談ください。

福井 貞則

続・面白い企画アリマス

18歳から22歳までの若者が、またまた遊び感覚で考えた面白い (バカバカしい) 企画がいっぱいあります。

★携帯電話のノリで町や村で拾ってきた、情報番組と称する全国地域情報企画はいかがですか。

★吉本コントのノリで書いた、コントや漫才のバカバカしい台本はいかがですか。

★トレンドドラマのノリで書いた、笑ってしまうような脚本はいかがですか。

プロでは考えられない、考え付かない、「遊び」感覚の企画、はみだし企画を、わたしは若者と一緒に考えています。

他人迷惑にならない、危険性のない、著作権のない(?)、ストレス解消の企画です。

竹村 潔

京しぐれ—嵯峨野につづく大作

雪降る道に紅梅花を染め抜いた羽織あざやかに、初春の清水道をどこか古い伝統を携えた一人の女が歩いていた。

京しぐれ 導入部

陶芸家丹波清次郎の娘美園には異母妹礼美が居、同腹の姉妹として20年間育てられて来た。礼美の実母は陶芸店清水商会の吉江で、清次郎の正妻菊江が病弱のために女中として働いていて、清次郎との間に出来た不義の子が礼美であった。吉江と菊江は女学校時代の同級生であり、礼美の兄哲男を抱いて路頭に迷っているところに出会い、清次郎の身の回りをさせる事になったのである。美園の悲劇は哲男と礼美が兄妹とは知らず、深い仲になりつつある事を清次郎が気付いた事から始まる。

清水の舞台で夫婦気取りでいる哲男と礼美を見た清次郎は、吉江と相談して、子供の頃から美園に好意を抱いていた哲男と美園の結婚話を進める。清次郎の不可解な行動を知った病身の菊江は、今わの際に事の真相を美園に打ち明ける。聞かされた美園は、自分が犠牲になる事によって総てが丸く治ま

ればと、哲男との結婚を承諾する。それを知った礼美は激怒し、女中のお梅と共に謀して苛虐を極める。じっと堪える美園。美園には哲男の義兄寿男と言う愛する人が居た。俗世に愛想を尽かし、親許を離れて、伊勢でノアの方舟を造っている。その寿男のもとへ、礼美から美園と哲男の結婚話を暴露する手紙が届き、京都へ戻って美園を刺す。退院祝いの席上、礼美が出刃包丁を翳して美園と哲男に襲いかかる。最早これまで。吉江が礼美の出生の秘密を吐露し、そのために美園が犠牲になった事を切々と訴える。寿男の実父が先妻を亡くして困っている時、清次郎が吉江を紹介した。その折、自分の子供を吉江が孕んでいる事を伏せたために起こった悲劇だった。清次郎が脳腫瘍で急逝し、寿男は他の女と結婚して子供まで居る。天涯孤独になった美園は、清水の舞台に立ち、天上の父母に、この清水と共に強く生きて行く事を約束する。連ドラ (1クール、1時間、或は2クール30分)、戯曲 (2幕12場、122枚)。既に完稿。小説化も可。尚、前回の嵯峨野190枚とありましたが1900枚の誤りです。

竹村潔の世界! たっぷりと味わって頂きたい!

協力して下さい

高桐 唯詩

去年の選挙で、新しく理事に選んで頂きました高桐唯詩です。また、企画事業委員長の役目も仰せつかり、微力ながら、頑張る所存です。

私見ですが今、日本放送作家協会には、新しい風が吹き始めています。岩間芳樹理事長を中心に、「社会的に存在意義のある、国際的に立派に交流できる、文化団体としてのアイデンティティー作り」がはじまっているのです(こんな難しい表現にしちゃってごめん下さい)。

企画事業委員会でも、「自分史講座を開こう」とか「放送作家の旅」の本を出そうとか、いろいろな企画を考えているところですが、会員の皆さんの中で、協会の事業で「こんなことはできないか」というアイデアがありましたら、どんどん私に教えて下さい。アイデアで生きている放送作家ですもの。知恵を出し合って協会を盛り上げよう!

「第三者機関を 考える」

郵政省放送行政局が主催する「多チャンネル時代における視聴者と放送に関する懇談会」では、テレビ番組の内容についての苦情に対応するための、第三者機関を設けることを検討しています。

これはTBSのオーム報道問題に端を発して、テレビ番組の質を考えようという動きですが、昨年12月の話し合いでは、放送事業者側が、「言論への行政の介入」として反対し、自主管理を主張しました。もしも、「第三者機関」などというものができて、行政が番組づくりに口を出してくるのめかなわなし、かといって今の放送事業者に「自主管理能力」と呼べるものがあるのか……素朴な疑問が残るところです。

日頃目の前の仕事に追われているわたしたち放送作家も、「テレビというメディア」「放送という世界」を、改めて俯瞰の眼で見つめる必要がありそうです。

これからも、この誌上で、会員相互の意見交換を行っていきたいと考えています。

岩間 芳樹

視聴率至上主義の残骸

第三者機関であるにせよ、郵政省が放送関係法で括りきれないものに対して監視制度を設けるといのは、明らかに表現の自由を侵すものだ。むろんNHKも民間放送連盟もこれに反対し、自主管理に委ねるよう主張したが、これとてもアメリカの先例に見るように、放送事業者によるテレビ番組の倫理自主管理Vチップ制への懸念が残る。

TBSのオーム報道問題から急浮上した郵政省の動きだが、こんな動きへ刺激したテレビにも、大いに問題がある。なりふりかまわぬ視聴率至上主義が制作現場に落とした類屍は実に無残だ。それがあたかも視聴者から促されているかのような錯覚はなんとも救い難い。これでは送り手たちと世間との感覚のズレがますます深まってしまう。こんどの監視制度問題でも、果して放送事業者の自主管理で解決するのだろうかという視聴者側の強い懸念が残ったままになっている。視聴者には、テレビがいまよりはずっと創造的で、情報社会のオピニオンリーダーたり得た時代の記憶も残っている。このごろのテレビはひどいというのが、当節の庶民のありふれた会話だ。テレビがああいつているからそうかもしれないという時代から、テレビがああいつているから怪しいという時代へ変わったことだけは確かだ。

しかし、私たちはそうしたテレビの制作現場で仕事をしている。テレビの制作現場が起こすさまざまなトラブルを非常に恥ずかしいと思い、テレビに関わっていること自体にためらいさえ感じることもある。こんな労働環境はどうも快くない。では他の多様なメディアはどうかとふと見渡してみれば、どこも似たりよったりだ。情報化社会といわれて久しいが、こんな情報社会を私たちは期待したのだろうか。そんなことはない。そこで、せめてコトあるごとに声を大にして警告を発するぐらいの度量を固めなければと実感する。

大舘 哲弘

質の高い番組作りを

テレビ番組の“質”は、視聴者が決めるものでしょう。現在の、多くの番組のような“質”の悪いものを流し続ければ、“質”の悪い番組を好む視聴者は残るかもしれませんが、“質”の良い番組を求める視聴者は離れて行くでしょう。放送事業者に自主管理能力があるとは思えませんが、言論に行政が介入することだけは反対です。

谿 溪太郎

自主管理能力の実証を

テレビ番組の内容に関しての第三者機関の設置には異論は唱えないが、これが放送側に対する言論への介入、あるいは監視などに繋がるとすれば、賛成すべきでない。放送側は自主管理の充実、とくに番組制作の資質的向上を図るべきである。それが放送側の自主管理能力を実証することにもなる。現在疎かにされている多くのものを、見つめるきっかけともなるだろう。

毛利 恒之

表現の自由を守るために

放送の表現の自由を守るために、つねに自律的な、自己検証が必要だと思っています。“第三者機関”という名の行政介入や政治的圧力を拒むためにも――。

加賀美しげ子

視聴者の声に謙虚に耳を傾ける時

最近、仕事で数十本のビデオを見る機会を得た。ある社会問題の賛否両論をテーマに、数年にわたり収録された特集番組である。

15分番組から1時間半番組まで、東京、地方各局が独自に制作しただろう映像を目の当りにして、私は錯覚を起しかけた。

ひょっとして、構成台本は、ひとつ？……

問題をとりまく状況も、風物も、インタビューの相手までもが同一なのである。いくら問題は同じといっても、広大な地域、多勢の人々、取材源は、異った視点で求められなかったらうか。

その上、番組の協賛、協力団体によって、賛否の比が、著しく片よっていたり、年代を追うごとに、否を唱える世論に迎合する傾向さえみえて、何やら恐ろしいものを感じてしまった。

かつて、ラジオの大本営発表を信じ、くつがえされた過去もあったように、放送は意図すれば一つの方向に人々を導くことが出来る。

誤解を恐れずに言えば、テレビドラマにも同じことが言えないだろうか。

あまり好ましいと言えない社会状況をドラマ化し、受けたからといって次々似た作品を送り出し、インパクトの強い描写が、一つの風潮を作り出し、セリフが流行語となる。それでも、えげつないねと言いながらも人々は見、数字にはねかえる。

勿論、善悪、清濁の基準は誰にも決められるものでもない。ただ、今、視聴者の苦情の声が高まっているとすれば、関係

者は謙虚に耳を傾けるべきではないか。とはいえ、行政の介入は、あってほしくないし、ならないと思う。

考えてみれば、私達数百名の仲間は、番組を左右する根幹の仕事をしている。反面、ノーと言えない弱さを痛感してもいる。しかし協会としてなら、自主管理の一組織として、一人一人が考え、討論し、声としてアピールすることは出来ないだろうか。少なくとも、日本の文化に深く関わる組織なのだから。

井川 公彦

第三者監視機構てなんじゃ？

日本国憲法第21条では、表現の自由と同時に検閲の禁止を規定している。てことは、行政主導による監視は違憲となるだろうから、そんなもんはいらん。以上。と言いたいが、そもそも放送に表現の自由なんかあるのかい？ 表現する自由なんて、自主規制によって自ら否定しているではないか。電波を国家行政から分配して貰って運営している放送局に、表現する自由を求める方がムリというもの。

問題は、表現する自由ではなく、「表現を受け取る自由」が国民にホントにあるのかどうかということだ。ほとんどの国民には、放送によって表現する自由なんてない。だからこそ、くだらん番組は見たくないとか、青少年に影響する俗悪番組をやめるとか、文句中傷ばかりがまかり通る。よって、国家がやるとすれば、放送を免許事業にしないで、国民の手に渡すべきであろう。自由に電波を使いなさいって。そしたら、「放送で表現をする自由」を国民が獲得する訳だから、その時初めて、国民同士で監視できるんじゃないの？ それにしても、監視て言葉、でえきらい！

平柳 益実

「多チャンネル時代のTV監視機能」を請け負うのは誰？

“テレビ番組の内容についての苦情に対応するための、監視機能たる第三者機関を設置するか否か、議論をした……”と聞いて、是か非かという以前に理解に苦しむのは、300チャンネルにも膨れ上がろうとしているメディアが日々発信し続けるおびただしい数の番組を、ある基準(スタンダード)に照らして監視し続ける組織などできるのかということだ。それとも“苦情に対応するため”ということで、良識派の視聴者から出された苦情を、天下り役人みたいな人が自分では見たこともない番組について「けしからん」と代弁するだけなのだろうか？ いずれにしても、税金を浪費するだけで大して役に立たない役所の外郭団体を増やすだけだと思うのだが…。ならばいっそ“TV監視チャンネル”みたいな局をでっかあげ

特別企画◎第三者機関を考える

て、番組について役人だろうが、子どもだろうが、自分の見た番組についていいことがあったら四六時中、自由に本音を発言できる場を作るといのはどうだろう。

無制限に寄せられる発言を垂れ流せば、単なる建て前だったり、誹謗中傷みたいなものも出てくるだろうが、そうした意見に対する疑問、反論が寄せられ、淘汰されていけばしめたもので、そこで初めてひとつの番組がきっかけになってTVを考えるという積極的な動きに発展することになるのではないか。

実は、これに近いことはパソコン通信のTV番組フォーラムで行われている。

私事だが、以前シナリオ担当のひとりとして参加していたTVアニメのフォーラムを見つけた時は、毎週恐る恐るのぞいたものだった。オンエアの夜などその日のエピソードに関する感想がゾロゾロと掲示され、やれ「ストーリーが御都合主義だ」とか「あのキャラクターがあんな台詞を吐くか」など実に素朴かつ直截的な視聴者(の一部)の反応を知ることができた(そして傷ついた)。

こちらも時々「ケッ、素人がヨ！」などとイジけたりすることもあったが、銀行の低金利並の視聴率しかとれない番組でも見てくれる人がいることが実感できてホッとした次第。最近では主な番組がインターネットのホームページを持つようになった。ただし、パソコンという機械自体が永遠の未成品的な宿命を負っているため(使う用途が定まらない間はただのハコみたいなものですから)一般のTV視聴者が積極的に参加するには、パソコンが電話のように、どのメーカーのどの機種を買っても、ほとんどの人が迷わず使えるような下地ができるまで待たねばならない。

それよりも、TVの中にTVを語るチャンネルがあり、かつ双方向通信的に参加できるのであれば、新聞や雑誌の読者欄とは比較にならないくらいダイレクトなリアクションが見込めるのではないか。十年一日のごとき官僚、政治家の不祥事を例に出すまでもなく役人や自称有識者がポーズだけで監視したところでTV番組の質が良く変わるとは思えない。番組を“監視”できる立場の人がいるとすれば、その番組を愛している視聴者ほどの適任はないのではないか。

石井 清司

苦情対応以前に 議論すべきことは何か

「第三者機関」設置問題は、番組内容に対する“視聴者からの苦情対応”に限って語られています。それ以前に、新たな「デジタルCS放送(多チャンネル)」と視聴者の関係とは、即ち、多チャンネルのコンテンツ(番組)とは何なのか、どうあるべきかの議論がまだありません。これは実はとても重大なこと。「第三者機関」の件、官主導による“唯一”のものではなく(“自由な”放送づくりには逆行しかねません)、多様な形態が望ましいのでは。そこを議論すべきでしょう。大事なのは、そのような機関をどう考えていくか、選定の“プロセス”のなのです。

知ってました？

TCC(東京コピーライターズクラブ)ってのがある。会員約600名。

✎ うちら放作協約1000名。

比較 ①

役員たちの集まりには、必ず豪華なお弁当がでるんだって。例えば赤坂の寿司屋の折り詰め。

✎ うちら六本木にも寿司屋はいくらでもあるのに。理事会で出るのは、一律1000円の交通費のみ。

比較 ②

あちらは毎年「コピー年鑑」という広告集大成を出している。

✎ うちらだって、権威ある(!)テレビドラマ、ラジオドラマの懸賞募集をやっているし、かつては森繁賞という国際賞もやった。負けてへんで。

比較 ③

あちらの会費は年間6万円。

✎ うちらは1万2千円。安い! でも、この差が寿司屋の折り詰めになってんだよ。うちらのボランティア精神、ホメて、ホメて!

最後の比較

あちらの広報委員会の原稿募集を読んだら、「40字程度で」と書いてあった。40字で何が書けるの? と心配になる。

✎ うちら、300字だもんね。大盤振る舞い! さすがコピーライター、短く表現するのがプロってものなのね。

(放作協ヒラ理事 東 多江子)

日本放送作家協会 理事会活動報告

定款によると、当協会の目的と事業は、以下のとおりです。

第4条 この法人は、放送作家相互の提携の場となり、放送文芸の諸問題に関する研究調査を行い、放送文化の普及発展、ならびに国際的交流をはかり、わが国文化の向上に寄与することを目的とする。

第5条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 放送文芸に関する研究会、講演会の開催。
2. 創作活動の育成に必要な企画、調査。
3. 会報、機関紙、年鑑等の発行。
4. 放送作家、放送文芸の国際的交流。
5. 放送文化の向上に寄与した団体、及び個人の表彰、ならびに研究の奨励。
6. その他前条の目的を達成するために必要な事業。

現在、上記の中で、第5条の3以外は、やっていないに等しい状況です。事業をするには、ヒト、モノ、カネが必要であります。ですが、そのいずれもが不足しているのが、協会の実状です。実働できる事務局員は一人しかおらず、モノはパソコンひとつなく、カネ(予算)はギリ貧に等しいのです。

事業計画 抜粋

1. 放送関係の学会、講座、コンクール等への協力、賛助会員関係放送番組モニター実施
2. 創作テレビドラマ、創作ラジオドラマ脚本公募(放送文化基金助成事業)並びに公開講座
3. 脚本家年鑑(日脚連との共同)、放送作家情報の発行
4. 放送文化の向上に寄与した団体および個人への表彰

(安藤日出男、尾崎左永子、海原 卓、柴栄三郎、白土和朗、内藤彦彦、中澤昭二、西島 大、額田やえ子、野口 駿、堀 俊彦、矢田 尚、山田和也、横田弘行、喜多内十三造、村越一哲、山田万亀、森崎和枝、小南武朗)
敬称略

「放送文化懇談会(仮称)」計画 抜粋

放送文化に関わる問題を日常的にリサーチし、集約し、問題が起されれば日本放送作家協会としての社会的発言、提言のレジュメを行う委員会を設置。この委員会の提案を受けて、理事会が討議、承認の上、放送事業者、報道機関、行政機関等に向けて発表します。

既に、委員の候補があがり検討中ですが、広く会員からの参加を求めます。

ちなみに来年度の予算は、総額約3000万円。(大まかな内訳は、助成金事業(コンクール)900万、広報費320万、出版費327万、会議費51万、総会費83万、旅費117万、通信費56万、印刷費27万、委員会費37万、事務員給713万、福利厚生費(職員への)137万、退職引当金50万 その他)

そこで、理事諸氏と各委員会の委員は、まったくのボランティアで業務をしており、一日来て貰っても、千円の交通費しか出ません。勿論、報酬はゼロです。

そんな状況の中でも、目的と事業ができるようにするために、年鑑の広告取りや賛助会員の増幅をはかっております。今後の事業計画には、『ものを書く(自分史・随筆講座)』『作家の旅エッセイの発行』『作家サロン』『関係団体への講師、講演協力』『新しい方式の脚本コンクール』などがあります。が、圧倒的に資金不足。

会員はまもなく1000人に達します。その大きな存在を業界や世間にアピールするために、そして何よりも会員が会費を払う価値のある団体にするために、支援してくれる団体等を紹介してくれば幸いです。ご連絡やご意見は、協会事務局までお願い致します。

なお、文化庁に提出した平成9年度の活動計画は次のとおりです。

(文責・井川公彦)

近況報告

谿 溪太郎 舞台関係の脚本・構成・演出が多くなっているこの頃

最近ではテレビ・ラジオの仕事が減少し、放送作家と言うより、舞台構成演出家・劇作演出家・著述家などという名称を使うことが多く、舞台関係の仕事が多くなっています。現在決定している平成9年12月までの舞台関係の仕事の主な物は次の通りです。

A ステージ・ショー関係(構成・脚本・演出担当)

- 1、2月23日(日)
大正琴琴城流二代目家元襲名10周年記念公演
『鈴木琴城大正琴リサイタル』(名古屋 中日劇場)
- 2、8月3日(日)
『琴城大正琴コンサート』(名古屋市民会館)

B 舞台演劇関係(脚本・作詞・演出担当)

- 3、7月27日(日)
国際児童劇団公演
ミュージカルドラマ『西遊記』全6場(名古屋市公会堂)
- 4、8月3日(日)
上海国際少年児童文化芸術祭公演(22カ国参加)
『西遊記』(中国 上海美琪大戲院)
- 5、8月5日(火)
国際児童劇団公演
『西遊記』(中国 蘇州市人民大会議堂)
- 6、12月7日(日)
日本舞踊「牧園流」公演
大和楽による創作舞踊劇『お峰抄』(名古屋市民会館)
有吉佐和子作「真砂屋お峰」より

田中 政雄 二本脚で歩く

暮は右脚打撲して、一時、杖をついて歩くことになった。歩いてみたら、何と人の心が優しいのだ。手に持った荷物を落とした時、「落ちましたよ」とさりげなく拾ってくれる。列に並ぶ時、番をゆずってくれる。小さいかわりが、ああ、まだ庶民同士のこういうあたたかさ、あったのかと、しみじみ心がなごんだ。それにしても、ふだんあたり前と思っている二本脚で歩けるということ、これは素晴らしい、ありがたいことなのだと思感した。この近況が発表される頃は、私も二本脚で歩いているだろう。のど元過ぎて熱さを忘れまい。私は戯曲を書いているのだが、二本脚しっかり地につけて歩くような作品が書けたらいいと思う。春。街を杖ついて歩いている人を見かけたら、親切のお返しをしようと思う。

水島 総

日本の文化を アジアの人々に知ってもらおう!

アジアで最初の日本ソフト専門テレビチャンネル開設! 放送開始!

私は、昨年より、フィリピンのマニラ市で映像プロダクションを開設していましたが、本年4月1日より現地のスカイケーブルテレビチャンネルで、日本の映像ソフトを専門に放送するチャンネルを開設します。放送は毎日、24時間放送。深夜は日本製品を中心にしたテレビショッピング番組にする予定です。この放送は、番組の8割が現地フィリピン人用にタガログ語か英語で放送され、残り2割が在比日本人の為に日本語で放送されます。

東南アジアの放送世界は、中国語や英語放送が、それぞれ雨あられのごとく流されていますが、日本の映像ソフトは台湾・香港等の一部の国に流れているに過ぎません。これは、日本の現代文化や風俗、流行等をアジアの人々が知る機会の全くないことを示しています。国内で安住しているメディア企業に先駆け、私たちはアジアへと出かけ、調べ、考え、現地の人々と共に、アジアにおける最初の日本チャンネル開設にこぎつけました。どうか、みなさんご支援、ご協力、アドバイス等をお願いします。関心のある方は、是非、ご連絡下さい。

連絡先 リバース 水島まで

高橋 克雄

メディアの記録と システム開発に取り組む

◆マルチメディア映像の発想構築学のセミナーを通信事業などの大手企業の中で開くとともに、新しい展示画像製作システムの共同開発に取り組んでいます。

◆教育者のための月刊雑誌『文藝広場』に『思い出検索・映像製作半世紀』と題する記録エッセイを長期連載することになりました。

メディアの消長に興味のある方は、資料になるとと思います。ご購入下さい。

連絡先

第一法規出版(株)

野津 聖治

ラジオドラマで頑張っています

広島の地において、ラジオドラマばかり書いております。

ラジオドラマの創作に夢と希望を託していますが、地方においては(中央も同じでしょうか)何と出番の少ないこと。

縁あって、昨年11月に協会員となることができました。これからの、全力で、ラジオドラマの創作に励みます。

皆様のご指導、よろしく、お願い致します。

三木 睦郎

『先取りTV』にご協力下さい

昨春より日刊スポーツの生活情報面にて、ためになる情報番組や番組内のプレゼントなどを事前に紹介する『先取りTV』欄を制作しています。隔週日曜日に連載していますが、もし

担当番組でプレゼントの提供ができましたら番組資料とともに、FAX 03-3426-1053 までご一報下さい。別にOAで告知できなくても、宛て先を広報などで処理していただければ掲載可能です。皆様のご協力をお待ちしています。



大塚 孝典

テニス、ときどき脚本

どういう風の吹きまわしか、数年遠ざかっていたテニスを再開した。週3回、“晴れている限り”コートに出かけていく。50代半ばを過ぎて、まだ十分動ける体を確認したかったのかもしれない。しかし、サーブ&ボレーなどをすると息が上がって、「どうしました?」と心配される始末。それで一挙に昇天できれば、それもよしの心境だ。横浜周辺でコートにお困りの方は、一緒に愉しませませんか。脚本より健康が大切……。

神津 友好

変な本発売

変わった本を出します。著者が約60名で、各人が手ばなしで「私の傑作」とか「腕自慢」とか言いたい放題を書きならべた自伝集。『笑芸芸国紳士録』(仮題)。5月発売の予定。主力メンバーは、協会・連盟より助成金が出ている笑芸芸「有遊会」会員他、芸界、マスコミなどの趣味人。

本文中の企画ものの一つ『笑芸芸作法』ことば遊びの楽しみ、を担当しました。洒落小唄のつくり方、パロディー回文、都々逸、川柳、なぞかけ、もじりフレーズ、秘伝公開。これ読んだだけであなたのダジャレは「芸術」になります。

西澤 實

観世元雅の謡曲を完稿

○早く言えば(遅く言っても)老化故の動脈硬化による間欠性跛行で昨秋来、歩行不自由と相成ったのがさいわいして諸々の委嘱を断わり、ものを書く時を得たので、念願の一つ、観世元雅の最後を謡曲(能の脚本)の形で先ず書き上げた。

○万人、いつかは命取りの病衰に相逢う。当然である。その時、名医に逢うか否かで、決定的。三叉神経痛手術では日大枝楨の(当時)坪川先生、此の度の動脈硬化では六本木・心研の相澤先生。

そこで提案。体験者が推す名医名簿、編集しませんか。

池本 真司

法医学を極める

自治医大を名誉教授の季節となり、法医学の窓際から一寸離れてしまいました。『陸にあがった河童』とはこんなものかな、と考えている昨今です。幸か不幸か、中央大学大学院、日本獣医科大学など2、3の大学から誘って頂き、相変わらず法医学は続いています。『読者と作家のための法医学』を極めてみようかと思っています。如何なものでしょうか。

小野 勝也

色彩関連学会の主宰も楽しい励み

本の依頼が来てから、矢張り放送作家だったと嬉しさも半分……張り切って打込んでいます。とはいえ靈的なもの砂文字合いによる色彩関連学会の主宰もつづけるべく何年も前に戻って、心優しい日を送っているのもいい励みです。心理的モノは勿論、コメディ、演歌の構成でもシリアスもの、捕物帖何でもやる気で頑張っています。宜しくおねがいします。

榛谷 泰明

日本列島沿岸散歩

50歳を過ぎてから、徒歩の旅を始めました。現代人は、風景や風物をクルマのフロントガラスを通して見るようになって

しまいました、歩く速さで風景や社会を見つめ直してみようと思いついたからです。

まず、ふるさと北海道の海岸線を歩き、続いて本州・九州・四国の沿岸を一周しました。合計11,582km、15,056,600歩でした。道中、様々な出会いと学びがあり、その紀行写真集を「オデッセイ」シリーズとして上梓しました。

相良 順

ご挨拶

拝啓

新年を迎え、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

実は2年程、入院生活をしておりまして、なかなかご報告できずにおりました。

今後共、何卒宜しく願い申し上げます。

厳しい寒さのなか、どうぞ皆様、ご自愛下さいませ。

坂本 嘉江

ラジオ番組の充実を

暮に体調をくずして入院生活を送りました。白内障が進行中なのでテレビや読書を避け、ラジオをきいてすごしましたが、ドラマが少ないのに驚きました。それに短い邦楽を語りでないだ“風流歌草機”という番組があって、亡き金曾大畔画伯に楽しみにきいていますといわれたことがあります。手仕事をしている方やお目の悪い高齢者も多いと思います。ラジオ作家の出番を作って下さるようお願いいたします。

宮田 達男

お忘れなきよう

ずいぶん長い間顔を出していませんので、あいつ生きているのかとご心配のムキもあると存じます。ごぶさたを始めたころから、ドラマをやめて、教育ビデオ、ドキュメンタリーに転向。自分で言うのも何ですが、現在に至るまでかなり書いていますし、賞などもいただきました。

広報委は昔、たしか3期ほど一生懸命働きましたが、顔を出していない天罰で、さる所で若い女子会員の人に「あなたも会員の方ですか」と尋ねられて、以来足がすくんでいます。岩間理事長の檄文に接し、元気を出してこれを書きました。

川崎 洋

1、2月のスケジュール

悪態をめぐる書き下ろし単行本原稿を草思社へ。岩波少年文庫『イギリス詩集』(谷川俊太郎と共訳)の校正。講談社文芸文庫・伊藤信吉著『ユートピア紀行』の解説執筆。NHK-FMシアター『人間っていいねえ』1月25日夜放送。NHK-BS2 書評番組「週間ブックレビュー」に出演。雑誌のエッセ

ー2本執筆。「文藝春秋」「現代詩手帖」「郵政」各1月号、「西日本新聞元旦号」に詩発表。群馬県高岡市文芸祭で講演。昨年に引き続き読売新聞「こどもの詩」、西日本新聞「読者文芸」の詩の選評。次の書き下ろしのための取材で広島へ。などなど。

尾崎左永子

賭ける

「賭ける」といってもお金を賭けるわけでも、いのちを賭けるわけでもありません。今年はどうも仕事そのものに賭ける年、という予感がします。大震災とオウムにまるまるTV凝視の時間をとられて、何もなさずに小人閑居をつづけた2年でした。今年は正月早々から追いまわされて、これが私の運命なら賭けてみよう、と決めました。「源氏の明り」(求龍堂)「かの子潮及」(集英社)「新訳源氏物語」(小学館)「万葉・歌の長旅」(主婦と生活)「古典文学散歩」(小学館)などが同時進行中です。

辻 真先

ミステリー、テレビゲームにも挑みます

一昨年「テレビ疾風怒涛」(徳間書店)で、テレビ放送がはじまったころの制作演出時代、昨年「TVアニメ青春紀」(実業之日本社)でアニメライター時代を書き、これで思いのこすことはない、今年からまた新しい仕事にはいるつもりです(注文があれば、だけど……)。とりあえずは、本格ミステリーと旅関係のノンフィクション、それに3年がかりのテレビゲーム(PS対応)ですが、アナログ爺さんには、デジタル世代のホンは荷が重かった……。

関上 芳裕

72才で勝負にでます

日本映画が斜陽化を通り越して見る影もない状態になり、テレビ界もまた同じ途を辿っているように見えてなりません。私には、ここまで落ちたのは、日本人全体が年々歳々チャチになっていることの当然の結果なので、現在、製作の第一線に在る人達の総入れ替えをやりア(ママ)せる位のことをしないとダメなのではないか!? 東大法学部卒という肩がきが何の値打ちもないことがハッキリしたように。2月2日で72才になります。勝負にでます。キツリと……!!

荻原美和子

女高生気分「たまごっち」

今、ようやく手に入れた「たまごっち」を一生懸命育てています。

子育てを終えて早や20年。我まを言ったら厳しく叱り、病気になったら素早く処置を、というも遠い昔に通って来た道。なんで今更と思いながらも、打ち合わせの仕事場で、免許更新の警察署で、バッグの中に忍ばせた我が子にピッ、ピッとごはんをやったりウンチを流したりしています。

結婚はしなくても子供は欲しいという女性が増えた昨今、やはり母性本能は永遠のものなのでしょう。

我が子もいま9才。お世辞にも可愛いといえる姿ではありませんが、この先どのように変身していくのか、女高生気分に戻って楽しみで仕方のない今日この頃です。

渡辺 雅子

初孫の誕生祝い

内孫、桃子が生まれ無事お宮参りがすんだ。ばあさんとしてはささやかな予算だがチョットおしゃれなプレゼントを考えてみた。

生まれたばかりの孫には「桃子」の名前を刻んだ印鑑を桃色のケース付き、健康な子を生んでくれた嫁には、桃子の誕生石トパーズのついたネックレスと指輪



のセットを選んだ。桃子がオシャレを楽しめる時期まで新米ママがつけてほしいと、言い添えて。勿論、ばあさん株は、最近の株低迷期にも拘わらず急上昇は言うまでもない。

もう40数年も前の中学生の頃だったか、父親から「これはお前が生まれた時に作ってやった印鑑だよ。もう渡してもいいだろう。大切に使いなさい」と「雅子」二文字の黄柳の印鑑を渡された。子供なりに、とてつもない重要なものを渡され、大人扱いされた事に感激と責任感を覚えたものだった。得意げに子供貯金に使ったり、教科書やノートに「自分のお印」だと押していた。

こんな父の影響で、私も息子にフルネームで、嫁いで行った娘には名前だけ(姓が変わるので)の印鑑を作った。更に息子の嫁にも婚約後、私の娘になってくれる証しにと、プレゼントして喜ばれた。

何かにつけてサインより捺印が重視されている日本、印鑑証明を必要とする堅苦しいものから、銀行、宅配便の受け取りと、子供達も結構重宝しているらしい。

孫が得意げに使ってくれるのも、すぐの事だ。

高谷 信之

芸術祭ラジオ部門で大賞受賞

21年間、ラジオドラマをコツコツ書いて来た事が報われたのでしょうか。

私が昨年書いたラジオドラマ『枝の上の白色レグホン』NHK-FM放送(演出・千葉 守)が、96年度芸術祭のラジオ

部門の大賞を受賞することが出来ました。

色々な方からお祝いいただき、久方振りに頬が緩んでいます。

本当はこういうことを声高に言うのは野暮でどうしようもないのですが、ラジオドラマに関してだけは、宣伝しすぎる程宣伝してもなかなか聞いてもらえないからです。

そこで敢えて宣伝します。3月29日(土)に夜10時よりNHK-FMで再放送の予定です。

なお、お聞きになれない方で、興味おありの方は私に言って頂ければ、無料でダビングしてお送りします。

さて、緩んだ頬をひき締めて、更なる道を……。

私の中に天使と悪魔が住んで居る限り。

後藤 正義

賀状

一月末 例年の如く賀状の整理をはじめます。議員の後援会のもの、社名だけのもの、個人のものでも印刷屋おまかせものは、既に配達された日にゴミ箱に直行している。これで4分の1は整理がつく。年々計報に接することが多くなったのは寂しい。

知りたいのは、知人、友人の近況である。添書きをする人も少なくなった。むしろ若い人のものの方が内容が楽しい。

あるグループで一緒に、日頃良識論をふりかざしている有名人(?)から返書が来た。たった一行「賀状ありがとう」だと。何様のつもりだと腹が立ち、その日、同氏の著書のすべてを古本屋にタタキ売った。雀の涙ほどの金額だった。何となくざまを見ろと思った。賀状は心の整理をするものであることも知った。

喜多内十三造

梅吉よ、お泣きなさい

こんなタイトルの詩を、ある社葬で朗読することになりました。「梅吉」ってご存知ですか? ぬいぐるみの白い小犬の名前です。

縁あって知人の画家と造形作家との橋渡しをさせて頂いて生まれた作品で、あれよあれよと言う間に社会に広く温かく認知されて行き、通産大臣賞まで頂くヒット商品にまで育ちました。

その成功の裏には、ぬいぐるみメーカーの社長の人柄が深く織り込まれていて、人とぬいぐるみの小犬とのホットな交流ドラマが数多く生み出されています。

玩具業界の数々の役員を受け持たれて、業界の良心と言われた社長の急死を、この白いぬいぐるみの小犬たちは、どんなに悼んでいることでしょう。梅吉よ、お泣きなさい。

あなたのお嬢様にお聞きになったら、きっと「ああ、あの可愛い小犬ね」とお答えになる筈です。梅吉の涙は、いつ晴れるのでしょうか。

植村 更

インターネットデビュー、 夢は膨らむ?

96年はそれまでとはガラッと仕事が様変わりしました。以前から興味があったTVゲームのシナリオに手を染めたのです。そして11月末には、ついに念願だったホームページを開設。毎日のように来る未知の人からのメール対応に追われています。ま、恋愛相談コーナーなんぞを設けたからそれは当然といえば当然なんです(笑)。それでも好きなことを発表できる場があるということは、本当に楽しいものです。個人営業をしている私達ライターには、唯一の宣伝の場かもしれませんね。これからは短編小説なども発表できればいいなあ、と思っています。締切がないというのが一番のネックかもしれませんが(笑)。よろしかったら覗きにきてくださいね。
(<http://www.netq.or.jp/~user/sala-u/>)

ルベ・エマニュエル

FeMPeK

マルチメディアヘジャンプ!

FeMPeKとは、『フィメール・インデペンデント・メディア・プロフェッショナル関西』の略です。

関西を中心に、メディアで働く女性たちでつくるグループです。メディアにおける女性の役割や課題を、一緒に考えていこうと、月1回大阪・ドーンセンターに集まって活動しています。

現在、FeMPeKの活動を多くの人にアピールし、もっと広い範囲で発言していこうと、コンピューターとマルチメディアツールを使ってデジタルメディアのトレーニングを行なっています。

関西に活動拠点を置く女性メディア人の参加を募っています。興味のある方は、お気軽にぜひ次の所へ連絡ください。

ルベ・エマニュエル(FeMPeKの設立者)

Tel/Fax(夜間)0729(24)7735

e-mail: eloubet@gol.com

橋本 和子

パソ通で台詞の勉強 (^_^;)!?

大阪に住まいを移して丸3年。すっかりパソコンにはまっています。愛機は「影丸」と命名したPC-98 21 V13。なにより、長文が書けるのが有り難い。ワープロの時のナンバー合わせに苦労したのが夢のよう。次に、パソ通が面白い。世代的に若い人が多いのが苦痛ではあるが、それはそれなりにとけ込んでしまえばオフも楽しめるし、偽名(ハンドル)を使って別人格に扮する努力も台詞の勉強になるのではないかしら。しかし、一つ困ったのは脚本を書いていて!はともかく(^_^;)とか\(><)/ギョッなどの絵文字を使いたくなること

(*^.*)。それでも「大阪に来て自閉症にならなかったのはパソコンのお陰だね」と連れ合いが言っていたのでいいでしょう。
NIFTY:PXU11672

上代 務

Vシネマ「ORDER」「勝算」が リリースされます

昨年より取りかかっていたオリジナルビデオ作品が、相次いでリリースされることになりました。

一本は俳優の西岡徳馬さん初プロデュース作品「ORDER」。内閣特別調査室の捜査官に扮する西岡さんがチームのメンバーを率い、巨大な悪に闘いを挑む痛快な娯楽作です。監督は藤田明二氏。

もう一本は現役ジョッキー田原成貴氏原作の「勝算」。息子を誘拐された騎手への要求はレースに勝つこと。絶体絶命に追い込まれた我が子を救うため、負け犬の烙印を押された父は、一世一代の勝負に臨む。こちらの監督は高井牧人氏。どちらもVシネマとしては、かなり高いレベルの作品になっていると思います。ぜひご覧下さい。

その他、小学館「ビッグコミックオリジナル増刊号」で連載中の「ジュリア」というマンガの原作も書いています。

NIFTY:BZH10435/e-mail:f3344478@ca.aif.or.jp

津田 幸於

生と死の狭間で

私は、今、この原稿を、築地のがんセンター中央病院の1050号室の病室で書いている。6度目のがんの手術を無事に終えたばかりだ。

8年前「膀胱癌」で初めてがんとめぐり逢った。以来、「尿管癌」で左腎臓尿管全摘出、「S状結腸癌」で大腿を40センチ切除、「転移性腫瘍」のため「右肺部分切除」「膀胱癌再発手術」と続き、今回は「左肺癌」の手術と、6回に及ぶがんの手術をしている。

私のがん歴については、朝日新聞の週刊誌「アエラ」の「現代の肖像」に詳しく書かれてもいる。

がんと闘うな、とか、闘えとか、がんに勝ったとか、克服したとか、読んだり聞いたりするが、がんは、そんな情緒的な、リベラルな相手ではない。がんは恐い奴だ。

がんにならぬために、私の経験からいって、自分の身体を酸性化しないように、アルカリ性を保つことを心懸けることだと思う。

私は、私の「生と死の狭間の中で」この貴重な時間を精一杯生きようと思っている。いま、5月の舞台「城崎温泉繁昌記・いろはにほへと」(2幕)を懸命に書いている。

池見 昌之

松山発・劇作2時会

民放のローカルラジオドラマは皆無。テレビドラマは論外。NHKはかつて地方局ラジオドラマに力を注いだが、担当者転勤や予算削減に遭ってほぼ終息しました。

しかし昭和24年発足の「劇作2時会」は、中央の出前でない、自家製のドラマを創ろうとして、志だけは持ち続けています。でも志と現実とは別のように、会員の高齢化とドラマの一種集中に悩まされています。「劇作2時会」の会員6名、

毎月1回の勉強会を欠かさないようにしていますが、隔靴搔痒の感は否めません。

コツコツ励んでいる地方のヒナたちは、卵を生めるまでになるでしょうか。



■ちょっと教えて■

25年ほど前のこと

記憶があやふやなのですが、その頃、たぶんTBSラジオで夜の9時半ころ放送していたラジオ番組『ある愛の物語』についてご存じの方いらっしゃいませんか？ スポンサーは明治製菓でした。好きだったんですよ。

井上美保子 Tel 077-777-7777 / Fax 077-777-7777

■ゆずります、ゆずって■

「歌舞伎年表」第6巻を探しています

岩波書店発行の「歌舞伎年表」伊原敏郎著(昭和48年・第2刷発行)の第6巻を5千円で譲って下さい。全8巻の内、6巻だけがないのです。全集ものの1巻だけと言うのは、古書店でも無理。誰か持っていますか？

東 龍男 T 077-777-7777 / F 077-777-7777

保富康午・前田武彦会員様

資料整理しておりましたら、貴兄ご執筆のS33年頃の放送台本ができました。必要ならお送りします。

高橋克雄 Tel 077-777-7777

■同好の士集まれ■

「句(食)う会」を復活しませんか

以前「句会・食う会」という放送作家仲間の集まりがあり、もっぱら「食う」方に心魅かれて参加しておりました。しばらく休会でしたが、そろそろこの4月あたりに復活させませんか。できれば初学者の若い人たちで「座」を持てれば楽しかろうと思うのです。もちろん句歴を積んだ手練の士の参加も欠かせません。3月の臨時総会後のサロンでお声をかけてください。俳句入門、句会入門といった「一」からのスタートにしたらどうでしょう。

津川 泉 Tel & Fax 077-777-7777

ぬいぐるみ愛好家の方へ

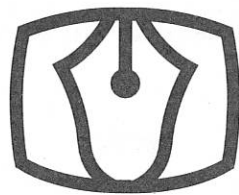
我家には、家族の一員となってしまったぬいぐるみがあります。

どう見てもシバ犬顔のピンク色のくま(名前をワンダ君)。安売りバーゲンのワゴンの中から見つけたのですが、ずっと売れ残っていたようです。そのせいもあってか、常に相手にしていないとイジケ虫のようになってしまう性格です。

物にも魂があると言いますが、話しかけたりかわいがっているうちに、気がつくとききてるみたいに思え、単なるぬいぐるみでなくなっていました。

そんなぬいぐるみのいる方と話がしたいと思っています。よかったら連絡下さい。

城野好美 Tel & Fax 077-777-7777



社団法人 日本放送作家協会